

SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

▶令和5年度 SSH 生徒研究発表会が行われました！

2月22日（木）に、令和5年度生徒研究発表会が開催されました。この発表会は、1年間の探究活動の成果を発表する場として、毎年この時期に開催されています。近年は、コロナ禍による制限で、来校者を限定したりオンライン配信をしたり試行錯誤してきましたが、今年度はそれらの経験も活かし、これまでにない規模で盛大に開催することができました。来賓の皆様、研究にご協力いただいた企業や研究施設、運営生徒、外部発表者、観覧者、すべての皆様に感謝いたします。

当日は様々な形でたくさんの発表が行われました。

↓タイから参加

口頭発表

・・・日本語での発表が3件、英語での発表が3件ありました。オンライン配信で行われ、在校生と来校した参加者は各教室から発表を聞き、来校できなかった方々も全国各地からたくさん視聴していただきました。タイの姉妹校のみなさんもオンラインで発表してくれました。



【寄せられた感想】（抜粋）

・いずれも質が高く、また生徒が一生懸命取り組んでいるのが伝わってくる良い発表だった。参加報告などもあり、研究だけでなくところも良かった。スライドについてもわかりやすく作られていた。英語での発表も上手にされていて感銘を受けた。

・資料を上手に利用してわかりやすく説明できていたと思う。専門的なジャンルのものは、初めての人にも分かるように最初の一步となる解説があればありがたいと思った。文理を越えたジャンルの幅広さに高校生の可能性を感じた。

ポスター発表

・・・第1体育館、第2体育館を目一杯使い、全部で116件の発表がありました。1年生のSS探究、医学コース、2年生のSS探究など在校生の発表に加え、卒業生の13件の発表、県内外の中・高校生による14件の発表があり、大いに議論が盛り上がりました。その裏では、12件のポスター発表もオンライン配信されました。

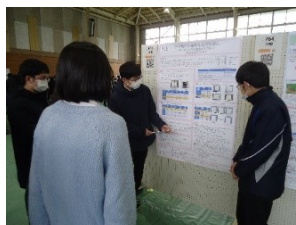
【寄せられた感想】（抜粋）

・自分たちが取り組んできた研究を聞いている人たちに伝えたいという気持ちがとても伝わる発表がほとんどだった。全部の発表を聞きたいと感じた。このようなところで発表をすることによって、発表のスキルアップは間違いないと考える。とてもよい機会だと思った。



・以前よりも多様なテーマが設定されており、SSH4期目のコンセプトが反映されたものだと感じた。またポスター発表をしていた生徒が私からの質問に丁寧に回答してくださったり、ディスカッションをしてくださったりと双方向のやり取りの中から探究活動の苦悩や成果を知ることができた。一方、探究の内容そのものとは別に、発表資料の作り方が気になる班がいくつか見られた。（中略）事前の班内でのチェックや他班の生徒同士のピアレビューを取り入れて、見やすいポスター作りを意識できると良いと思う。

・よく考察されており、しっかりとまとめてあったので感心した。さらに、深い探究につながりそうなものもたくさんあり、今後の活躍が楽しみだ。



（田村高校）
一田高体操でリフレッシュ

ディベート

・・・1 年 SS 探究で、ガイダンス、クラス代表決定戦、学年代表決定戦を経て選ばれた 1-5 vs 1-6 による決勝戦がオンライン配信行われました。

決勝戦の議題は「日本は男女ともに育児休暇・休業取得を義務化すべき」でした。5 組が否定側、6 組が肯定側で、舌戦が繰り広げられました。

結果は否定側 5 組の勝利でした。おめでとうございます！



【寄せられた感想】(抜粋)

- ・競技としてのディベートを初めて拝見した。議論のスピード感や、発表者の方々の堂々とした姿に、感心した。
- ・ディベート力を上げることは、考えを瞬時にまとめ発表することなので、今の高校生に足りていない能力なので大いに取り組んでいく必要があると思う。



・ディベートは主張を述べる際の持ち時間が決まっているので仕方がないことではあるが、ゆっくりと話した方がよいと思った。映像越しに見ているというのがあるが、早口過ぎて聴き取りにくい箇所があった。ゆっくりと 100%伝えきるといところをもっと大切にしてほしい。

座談会

・・・発表会終了後、在校生 20 名と卒業生 20 名が班に分かれ、ともに福島高校の SSH についてディスカッションを行いました。卒業生が主導し、SSH の活動をよりよくしていくために意見を出し合い、それをまとめて発表しました。さまざまな意見がたくさん出た貴重な場となりました。

今後も、卒業生が探究活動に関わったり、生徒自身の考えを事業に反映させるような機会を確保できると良いと思います。



【発表生徒自身の全体的な感想】(抜粋)

・僕はフィールドワークのポスター発表を行ったが、人前で発表したことにより、情報の伝え方や客観的な視点での自分たちのポスターの捉え方などを学ぶことができた。今後も大勢の人の前で発表する機会を大切に、情報発進力などを向上させていきたいと感じた。

・シンプルに課題発見力と、傾聴力が身についた。自分が考えなかったような様々な課題にしっかりアプローチして、研究されていた先輩方の姿は来年に向けて大変参考になった。

・私は口頭発表の代表になったので、話し合いを重ねて準備をした。その中で、相手が伝えたいことを正しく汲み取ることが重要であり、意見交換を通して成長したと感じる。さらに、発表する側としては、自分の発言やスライドを客観的に評価して、聞いている人の思いやりで汲み取ってくれることを期待するのではなく、分かりづらいため、発信力が向上したと思う。



▶4 月以降の予定

＜新 2 年生＞

リサーチエスチョン検討や研究計画書作成を経て、1 年をかけて課題研究を進めていくことになります。

＜新 3 年生＞

課題研究の論文作成、大学の先生の講義を英語で聞くグローバルサイエンスなどがあります。

＜このほか・・・＞

各種理数系オリンピック、海外交流、各分野のスペシャリストの講義をオンラインで受けるウメタン S など、希望者が参加できるイベントも様々あります（人数制限のあるものもあり）。ポスターやグーグルクラスルームなどでお知らせしますので、ふるってご参加ください！